



新たな協働のカタチについて考える ～切れ目のない子どものセーフティネットづくりを目指して～

1月28日（月）

19時00分～21時00分（120分）

場所 京都府庁 NPOパートナーシップセンター 会議室
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

定員 30名（事前申込制/定員になり次第申込み切）

参加費 無料

ゲスト 榎谷 礼路氏（一般社団法人Collective for Children）

様々な社会課題の解決のために活動を行っているNPO。

社会課題の複雑さや多様性により、1つの団体だけでは解決できない、あるいは課題の部分的な解決に留まってしまうことも多く、NPOはこれまで、様々な協働を通じて課題解決のために取り組んできました。

そうした中で、立場の異なる組織（NPO、行政、企業、財団、有志団体など）が組織の壁を越えてお互いの強みを出し合い社会課題の解決を目指すアプローチとして、「コレクティブ・インパクト」がアメリカを中心に広まってきました。

今回のナレッジ×DIYでは、この「コレクティブ・インパクト」の手法を使って家族を含めた子どもの総合支援を行っているCollective for Childrenで事務局長を務める**榎谷 礼路氏**をゲストに迎え、参加者の皆さんと新しい協働のカタチについて考えていきます。

◆プログラム◆

- ・コレクティブ・インパクトとは
- ・話題提供

「Collective for Childrenの取り組みから見える新たな協働のカタチ」

- ・座談会

「組織の壁を越えてつながるためのエッセンス」



榎谷 礼路氏

一般社団法人Collective for Children
理事・事務局長
NPO法人み・らいず2 理事

<事務局・お問い合わせ先>

京都府庁NPOパートナーシップセンター

Tel : 075-414-4212 Fax : 075-414-4230

Mail : fuminryoku@pref.kyoto.lg.jp

（担当：真鍋、竹内）

榎谷 礼路氏



一般社団法人Collective for Children
理事・事務局長
NPO法人み・らいず 2 理事

1974年 大阪府貝塚市生まれ。大学の時に、作業所のキャンプをきっかけに障害のある方々のガイドヘルパーを開始。

2001年、NPO法人み・らいずの立ち上げメンバーの1人として理事に就任。ヘルパー派遣、相談支援等の障害福祉事業のほか、高齢者支援、まちづくり事業、学生支援事業などに従事。2016年12月から子どもの貧困対策に取り組む一般社団法人Collective for Childrenで事務局長、相談員として従事。

問い合わせ・申し込み先 (下記を記入の上、メール又はFAXで申込下さい)

ふりがな

氏名: _____ 所属: _____

電話: _____ メール: _____

<参加理由(任意)>

<あて先>

京都府庁NPOパートナーシップセンター

Fax : 075-414-4230

Mail : fuminryoku@pref.kyoto.lg.jp

(担当: 真鍋、竹内)



(一社)Collective for Children

～全ての子どもたちが
生まれてから社会にできるまで
当たり前地域で暮らせる社会～

2016年12月、関西圏で活動してきた複数の子ども・若者支援のNPO等が連携し、子どもの育ち・学びを切れ目なく支援することを目指して発足しました。

各団体が十数年に渡り、障害福祉や、地域福祉、保育や教育といった活動の中で、虐待やDV、障害等、さまざまな困難を感じる子ども・若者がいることは変わっていません。

また、日本の子どもの7人に1人が困難の状態にあり、適切な支援を使いたくても使えない状況があります。

そうして誰もが気づかぬうちに社会の支援から抜け漏れてしまう子どもたちが生み出されています。

この状況を変えるため、直接支援の現場を担っている団体同士が連携し、NPOや行政、企業、市民、それぞれがセクターを越え、ともに実行していかなければいけない時代が来ています。

子どもや若者が安心して育ち、多様な学びや経験の機会を得て、誰もが未来を選択し、挑戦する力をつけることができる地域は、誰にとっても希望があり安心して暮らせる地域となります。

全ての子どもたちの幸福のために。

子どもたちのため、日本の未来のために取り組んでいきたいと思っています。

What's?

ナレッジ×DIY (ナレッジ・バイ・ディー・アイワイ) とは?

～ハイセンスな知的生産+ハイレベルなスキル研修～

NPOなどでの地域力再生活動を発展させるには、ヒトやモノ、情報や人脈などのより多くの資源が必要になります。

その資源を獲得するには、多様な主体との協働や連携が重要な鍵です。

参加体験型創造会議「ナレッジ × DIY」は、個人や団体、行政との協働や連携に必要な知識やスキルを、ゲストや府庁協働コーディネーターとともに実践的に学ぶ機会です。

